

植村芳樹・越山英剛

三重大学教育学部情報教育講座

1. はじめに

伊賀一宮敢國神社は伊賀地方の上野城を中心として鬼門に位置し昔から厄をはらってきたという。この敢國神社をホームページにて全世界にインターネットを通じて紹介する。著者の一人は、伊賀地方に住んでおり、伊賀の一宮であり、自分(伊賀の人間)のルーツとも関わっている敢國神社に興味を持って調査しようと考えた。この史跡紹介システムはあくまで歴史(史跡)学の範疇を越えるものではなく、宗教学の範疇までは踏み込んでいない。また史跡紹介システムであるため、社会科の歴史学の教材となり、インターネットを利用したCAIと位置付けられる。

2. システム構成

このホームページは約30ページで構成されている。まずはじめに「境内案内図」(図1)が表示され、興味を持った部分をクリックすればその建物を中心とした写真と説明が表示される(図2、図3)。案内図の下にも他の項目があり、こちらをクリックすれば建物以外のものの説明が表示される。主要な史跡に関する写真を取り入れて見やすくするように考慮した。

3. おわりに

本史跡紹介システムは敢國神社を全世界に紹介するだけでなく、歴史学教育の教材としても、十分なものである。また、敢國神社を伊賀地方の重要な史跡であることを考慮すると、伊賀地方の歴史のみならず、伊賀地方の重要な観光案内としても十分に役に立つものなのである。本史跡紹介システムは、歴史学教育の教材として開発したため大学レベルの社会科の教材としても役立つ可能性は十分に考えられる。なお、我々は三重大学教育学部のスタッフであるため、神道関連の教材、例えば「参拝者の拝礼の仕方」、「新人神主の行儀作法」などの範疇にまでは踏み込んでいない。

ホームページ作成においてはIBM社のホームページビルダー、アドビシステム社のPhotoshopを使用した。

謝辞

本システムを作成するにあたり、大変お世話になった敢國神社の方々に深謝します。

